

令和7年度 第6回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日 時：令和7年11月12日（水） 11：30～12：27
会 場：苫小牧市役所 本庁舎2階 入札室

出席委員：坂井会長、松原副会長、居島委員、川山委員、佐竹委員、
中川委員、中田委員、南(史)委員、南(正)委員 計9名

欠席委員：宮川委員

事務局：教育委員会 斎藤教育部次長

生涯学習課 田中課長、斉藤課長補佐、大垣主査、
戸澤主任主事、大森主事

開会 (進行) 生涯学習課 田中課長

1 会長挨拶

2 議事 (進行) 苫小牧市民文化芸術審議会 坂井会長

(1) 令和7年度苫小牧市民文化芸術振興助成事業変更申請の審議

(1) について事務局より説明。(斉藤課長補佐、戸澤主任主事)

<質疑>

会長 ただ今の説明について、委員の皆様から意見ををお願いします。

委員 変更理由は、出演者の調整が難航したのが主因ですね。助成額の減額はいいとして、まったく違う事業になっていますよね。開催直前にワンマンライブに変更して、「こどもどまんなか」と冠をつけたらいいのか、と率直に違和感を感じたところです。

会長 大幅な変更到我々では判断できず、今回の招集となりました。今のことについて事務局から補足はございますか。

事務局 変更申請を受けるにあたり、要綱の第8条の2ですが、これまでも日時や収支が変わった場合には事務局で受付けておりました。「等」にあたる部分として入場者数などがかかる形ですが、今回の大幅な変更に対し、事務局で判断できる範囲を超えていることから、正副会長にご相談しておりました。

委員 修正の範囲を超えているという印象です。

委員 出演者との調整について具体的に。全部を指すのですか。

事務局 出演者との日程調整がうまくいかず、結果アイビープラザの予約が埋まってしまったと伺っています。日程の変更は、当初

予定していた監督と調整がつかず前倒しになるなどの例があります。300人入る会場が市内に少ないことも要因として考えられます。

委員 これまで、審議会では何十もの項目を審議しています。旅費から広告から細かくチェックしたうえで、それに見合う助成金を出していこうと。そんな中、計画を出したにもかかわらず、まして2か月という変更申請の猶予も怠り、1か月前になって助成金をもらえるならなんとかやろうというのは、あまりにも虫が良すぎる。すばらしい会かもしれませんが、方向性が思わしくないと思います。

事務局 申請日についてですが、当初予定していた事業実施日が11月16日のため、本来9月15日までに申請いただく規則となっています。その日までに申請がなかったことから、事務局から連絡を行ったところ、開催場所の変更などのお話があり、その後の聞き取りを重ねた結果、本日の審議会開催となってしまいました。

委員 軽微な修正ならわかりますが、大幅な見直しにより再申請するのであれば、トラブルの理由も説明してほしいと思います。

会長 トラブルの理由については事務局から説明いただきましたが、モヤモヤしますよね。

副会長 再申請はできない。今からだと変更しか受付できない。第9条に中止という選択肢はありますが、申請者は開催したいと言ってきています。通常なら場所も使えない、日にちも変える、出演者も呼べないなら来年にしよう、となるのが普通。12月にして中身も全部変えてでも行いたいのは、観光大使として子供たちのためにという意識があるとは思いますが、皆さんがおっしゃることもわかる。

要綱と照らし合わせると、絶対にダメではない。「等」に踏まえて変更を受け、来年以降同様なことがないように要綱についても検討するしかない。今回は相手に教訓として、これだけでもめて、こんな見解があったなどを相手に言って、次年度以降改めてもらうしかない。

委員 変更を通すとして、それを決定した我々にも責任があると思います。ということは、申請者にもそれだけのことをやってもらう必要があると思います。でも、あと1か月しかない中で、これから広告を出して無料招待もして、実施できるという担保がどうなのか。熱意がある事業に対し応援したい気持ちはありますが、決定した責任についてどう捉えてよいのかと思います。

委員 本来綿密に企画したうえで助成申請を出すべきところ、大幅の変更で、まったくの別事業だと思います。おっしゃることはわかりますが、出演者含めて初めに計画すべき話ですよ。

委員 当初の計画にあった、学校の生徒さんの出演については何か聞いていますか。

事務局 出演しないと聞いています。

委員 学生も出演するなら応援したいけれども、消えている。

委員 2名 別事業ですよ。

委員 観光大使だから、苫小牧市のための事業だから、内容が変わっても許されるみたいな考えが見える。やりたいなら、その熱量で個人で頑張っていたきたい。私たちは前回の計画内容に助成額を決定したのであって、一方的です。

副会長
事務局 新規の事業だってならざるを得ない。

今回、交付要綱のどの部分で却下とするのかというところと、もう一方で、本人から直接事情を聴きとっての判断。このいずれかになるかと思います。

委員 主催者は変わらないのに、単独ライブに変わってしまった。どういうことなんですかね。

委員 先ほど検索したら、SNSでは広告出ていますね。

事務局 チケット販売も開始し、50名ほど集客しているとのことなので、実行の担保はされていると思います。

委員 市のお金を使うのに勝手すぎますよね。全額自分でやるなら好き勝手にすればいいと思いますけど。

委員 招待についてですが、まだ学校には連絡が来ていないなど思っていたところです。1か月で小中学生を30名って、今からできるものでしょうか。

部次長 学校分については、別ルートで後援担当課に届いています。助成の経緯もあったことから後援としていますが、今回の話を受けて、配布については今回の決定後としています。ただ、学校に掲示してよいものか作りが微妙で、後援についても、皆さんがおっしゃるようにこちら悩んだところです。

事務局 昨年度ベースだと、招待者は40名との報告がありました。

副会長 皆さんどうですか。要綱の中の「変更」に該当するのか。審査会で本人を呼んでも、審議会側の気持ちが一つじゃないと。我々が最初に聞いたときは「それはないよね」となりました。でも要綱を見ると変更になるのか、変更にしてあげたほうがいいのか。観光大使とか関係なく一申請として迷っているところ

会長 審査会の前に方向性を決めるのもありだと思います。この場で決定するのか、一任していただくか。

委員 なんとなくですが匂いが。言っていることは福祉とのコラボレーションだけど、ただ匂い袋をあげる。販売ブースを作って、子どもを招待して、地域の人雇って、行政との連携も市長のところに行くだけですよね。事業に異議を持たせるために、付け焼刃で寄せ集めて「お金頂戴」っていう。この企画や文書にそんな匂いしかない。

委員 改めて次年度に、とはならないのでしょうか。

副会長 助成の有り無しに関係なく、もうやるんでしょ。

委員 やるならやるで、勝手にやればいい。2か月前の申請も怠っているの。子どもたちも楽しみにしているから、本当にボランティアする気持ちがあるなら、頑張って開催すればいい。ここで甘やかすと、私たちが何のために審議しているのかわからない。私は反対です。

事務局 今までの申請の中でも、呼ぶアーティストが著名であればあるほど、日程の変更はよくあるように思います。変更申請の時期については、2か月を切るケースも散見されることを補足させていただきます。

委員 それは、苫小牧市の文化に対して、周りからそういう目で見られているということです。高望みしないで身の丈に合った方を呼ばないと。大人も子どもも、そのアーティストが来るのを指折り数えて待っている。大人の都合で変更っていうのは裏切り行為ですよ。そこをきちんとやっていただかないと、いつまでもたっても苫小牧市は蹴ってもいいと思われてしまう。

課長 今回の申請にあたっては、期日についてではなく、「変更」にあたるのか、変更ではなく「新規」なのかで判断するしかないと考えております。他のケースと比較しても期日には間に合っている体は要しているのです。

会長 留意事項の第8条に該当するかどうかですね。

委員 個人的にはこれを一つの教訓にして受けるしかないと思います。納得はいきませんが。

委員 私は、新規の別物だと思います。

委員 私も新規だと思います。

委員 もし変更を認めるのであれば、皆さん感じている違和感について納得する答えを示してほしい。我々は市民を代表して審議しているので、この状態でのGOサインは出せません。

副会長 審査会をしても、納得がいく理由しゃべれますかね。

事務局 現在進んでいるところも多いので、説明していただけるのではないかと思います。

会長 他にもございますか。変更とは認められないとの意見が一つございますけれども。

副会長 何かご意見ございますか、部次長からでも。

部次長 仮にこれが新規だったとして、この内容だと助成は難しいでしょうか。やり取りの不備ではなく、当初がこの内容なら通ったのではないかという意見もありました。内容もだめなら変更も認められないと思うので。

委員 もし変更したいのであれば、取ってつけたように綺麗な言葉を使わないでほしい。「こどもどまんなか」だから通用するとか、自分はこんなに頑張っているというところが見え透いていて、本当に腹が立つ。

委員 私は不登校支援の学校で働いています。先月直接ご担当の方から連絡をいただいて、私も少しだけ面識がある方で「先日一緒にコラボしたあの子、まだいますか」と声をかけていただいた。子どもたちのことを考えている方だとは個人的に思います。

今回の件、私は学校の人間なので、こういったケースがあると「こういう問題出たぞ。続けていきたいなら、次はちゃんとやれよ」という感じでおります。

会長 改めて見ると金額をスライドしている箇所が多い。

副会長 おそらく時期が近いので、同じ業者を呼ぶんじゃないか。

会長 その辺も聞いてみたいですね。

事務局 その辺りの詳細については、直接実行委員会の方に聞いてみてはいかがでしょうか。

副会長 主催者にはしっかり話をさせていただいて、次年度は場所や出演者をおさえているのかの確認をする。すでに動いてしまっている事業なので。

委員 新規はいつまで申請できますか。

副会長 2月。追加募集が7月ですね。この時にアイビーをとってなかったのはなんででしょうかね。

事務局 申請者には、「この点について疑義が生じている」など説明することになりますが、皆さんそれぞれ思いがありますし、私どもも申請者からすべて聞き取っているわけではありませんので、審査会で直接聞いていただければいかがでしょうか。

委員 細かい話ですが、印刷費について当初と変更後で値上がりしていますよね。その点も気になっています。

委員 前々から頼むと安いけど、直前だと高いとか。

委員 それにしても3万円は大きいですね。助成するにしても。

委員 素朴な質問ですが、新規の内容に近いから、28万円から下げるといのはあり得ますか。例えば10万円ならいいよとか。

副会長 できます。この部分を削減とか。

委員 ほかにデザイン料で15万円っていうのも。ポスターなど、出演者などの文字が変わっても値段は変わりませんよね。

委員 確認ですが、再募集はいつまででしょうか。

事務局 7月上旬ですね。

副会長 変更しかない。

委員 減額ですね。

事務局 過去にも、この項目は認められないので減額というのありました。

会長 だいたい意見は出尽くしたと思います。審査会は正副会長と中川委員で当人を呼んで、皆さんからのご意見について聞きたいと思います。

委員 変更の理由のほかに金額についても説明していただいて、そのうえで減額してでもやるのであれば、今回限りですがということも教訓して。

会長 それでは、内容に疑義があるということで、審査会に一任していただきたいと思います。

一同 異議なし。

閉会 12時27分